

2006 年度

科目名	対象学科・学年 文学部教福 2 回生 教育教福 2 回生	担当者
教育方法学		開沼 太郎
授業テーマ 教育理論と教育技法の学習を通じて、教育実践の現状と課題を考察する。		
授業の概要と目標 1、現在の教育実践の拠り所となっている主要な教育理論・教育思想の概説や史的展開について整理を行う。 2、教育課程の編成や教育内容の構成、学習指導の礎となる教育技術などの方法論について理解を深める。 3、新たな教育機器の利用をはじめ、教育実践の現状と課題について考察する。		
評価方法 試験：40%程度、平常点（出席など）：30%程度、課題演習（発表や提出）：30%程度 を目安に総合評価を実施する。		
テキスト 講義時に指示する。 必要に応じて配付資料やオンライン資料などを利用する。	著者	出版社
参考書 講義時に随時指示する。	著者	出版社
授業スケジュール・内容		
題目	内容	
(01) ガイダンス	本講義の概要について	
(02) 「教育方法学」とは	研究の領域、成立、意義、対象、方法 など	
(03) 教育方法に関する理論・思想の史的展開 ①	思想や理論の歴史をもとに教育方法のあり方を考える	
(04) 教育方法に関する理論・思想の史的展開 ②	実践の歴史をもとに教育方法のあり方を考える	
(05) 教育の方法や指導の理論 ①	教授・学習の理論や教育課程について	
(06) 教育の方法や指導の理論 ②	メディアを活用した教育のあり方について	
(07) 教育課程と学習指導要領 ①	教育課程編成の仕組みについて	
(08) 教育課程と学習指導要領 ②	学習指導要領の史的経緯と意義について	
(09) 教育機器の活用と教育方法 ①	教育機器の活用のあり方について	
(10) 教育機器の活用と教育方法 ②	教育機器を活用した授業実践について	
(11) 教育方法の新展開 ①	家庭・地域との連携と教育方法	
(12) 教育方法の新展開 ②	社会の変化への対応と教育方法	
(13) 教育方法の新展開 ③	現代的教育課題への対応と新しい教育方法	
(14) 教育方法と学習評価	教育方法と評価の関わりとそのあり方を考える	
(15) まとめ	本講義のまとめ	
※ 講義では、コンピュータや携帯電話（情報端末）など、情報通信機器を積極的に活用する予定である。受講者には専門的な技術や知識は必要ないが、主体的かつ積極的な活用姿勢を望みたい。		